

人生の目的

特定非営利活動法人ほてと to 地域福祉の会
河端幸男

現役を退いて数年が経ち、それまで充実した人生であったか否かは何とも言えない。紆余曲折はあったにしろありがたいことである。あらためて人生の目的について考え、これから後悔しない生き方とは、何なのか考える年齢となりました。

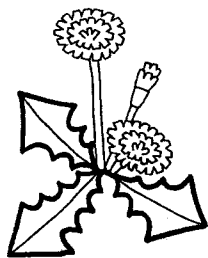
若かりし頃は、仕事や家庭を何よりも最優先する生活で、人との関わりもほとんど仕事中心で限られた人間関係だけでした。午前様の帰宅などざらで、仕事に打ち込むだけの会社人間でしか存在しなかった。仕事をとったら何ものこらないような生き方でしたが、この経験があってこそ今の自分が形成されたと思っています。

人生についてあらためて考えたことはありませんでしたが、年齢とともに仕事や家庭から少しずつ解放されると、自分のやっていることがこれで良いのか考えるようになりました。生活のリズム、考え方を変えるのに多少の戸惑いもあり、ただこなすだけで終わってしまう目的のない日々の繰り返しに嫌気がさしたのだと思います。

人生の目的とは何か、個々違って当然だと思います。今日という一日をどう過ごしたか。ただ目の前のことをこなすだけで一日が終わっていいのだろうか。充実した毎日、後悔しない生き方とは何かを問いながら、人と関わることから実践してきたつもりです。

人間、歳を重ねると性格もなかなか変えられない。自分の態度や行動も変わらなければ、相手の考え行動も変えることも難しいと思います。違う角度でものを見る、いっきに変えなくても少しずつ変えて行くことが大切だと思います。

今日一日やることがあるのか、無いのかによって大きな違いとなります。大変であっても、あることに感謝しつつ取り組んでいける人生でありたいと思っています。



わたし であ
私の出会ったなかまたち

ぼてと工房施設長 小巢 美佐子

毎年のことですが、3月になると過ぎ去った一年をふり返り、小さなため息をついてしまいます。ぼてと工房のなかまや職員のこの一年の成長はどれほどだったのだろうか・・・その一方では、なんだかんだあったものの、なかまのみなさんと共に元気で無事に年度末を迎えられたことにホッと胸をなでおろします。思い出したくない後ろ向きな事はらは過去に封印し、箭だけを見ると、嬉しかったことも面白かった事もこれまたたくさんあり、思わずニンマリしてしまいます。

今回紹介するのは共に個性豊かな二人の男性、DさんとEさん。年齢は倍ほども離れ、性格も全く異なる二人ですが、違うからこそ互いに引き合い、からかい合い、ちよっかいを出し合ってはささいなことでプチげんかをしながら相手を気遣っています。つまり、まるで、じゃれあう子猫?のようなほほえましい不思議な関係のコンビなのです。

Dさんはとても積極的に社交性に富み、季節の挨拶も立派にできますから販売はお手のもの。そして何よりも情報通。スポーツニュースから芸能界の三面記事まで彼に聞けばたいいの事はわかります。朝礼前にはスポーツ新聞を広げる無類の野球好き(というより、熱血ジャイアンツファン!)のおじさんです。お世話好きで面白いのでなかまの女性にはなかなかの人気者です。ところがせっかちで取り越し苦労が多いのが玉に瑕。ゴホンと咳が出ればすぐに風邪をひいてしまいます。速効、病人に変身できるのは心配性ならではの得意技かも知れません。翌日にはたいい、元気になっていますけどね。ともあれ、いろんなことに気が通る親分肌のDさん。

コンビの他方、20代のEさんは間逆のゆっくりマイウェイ派。身に危険が迫らない限り、あわてもあせりもしないのんびり派。休みの日には友だちとカラオケに行き、時間も歌いまくる楽しみを知っています。仕事の休み時間にはiPodで音楽を聴き、一人の空閒にひたり、仕事の往き帰りににはコンビニで買い物をし、TSUTAYAに立ち寄り雑誌を見ます。つまり、今時の普通の著者の一人です。時間をかけて覚えた仕事は完璧にこなします。仕事に妥協を許さないのは、イコールEさんのプライドの高さ。あつぱれです。彼の今年の目標はぼてとを辞めて転職すること。Eさんの夢は羽ばたきます。

ぼてと工房活動報告

平成26年12月～平成27年3月

- 12月 3日(水) 障害者週間 (3日～9日)
 16日(火) 喫茶特別メニュー クリスマスランチ
 18日(木) 利用者冬期ボーナス支給
 19日(金) カトリック川越教会納品
 24日(水) メンバーズミーティング
 25日(木) 仕事終了 午後 ティーパーティー(茶話会)
 26日(金) 大掃除 3時帰り
 27日(土) 冬休み(～平成27年1月4日)

平成27年

- 1月 5日(月) 初出勤 ショッパー折り・配り、新年食事会、仕事の準備、納品
 10日(土) 定例会、新年会
 15日(木) 健康診断① 郡慶へ納品 どぶそうじ
 17日(土) 講演会「障害者権利条約と虐待防止法」(坂戸市文化会館)
 19日(月) 健康診断②
 21日(水) 発見!市民活動フェア取材 メンバーズミーティング
 26日(月) 健康診断③
 30日(金) 障害者スポーツ大会打ち合わせ
- 2月 4日(水) 発見!市民活動フェア実行委員会
 6日(金) 近隣施設交流会職員会議 ほのぼの作業所
 10日(火) 勉強会「意志決定支援と権利擁護フォーラム」日高市相談支援センター
 13日(金) 喫茶特別メニュー 保菌検査(採便)提出
 14日(土) 定例会
 20日(金) レク 川越で食事とショッピングとカラオケ
 24日(火) メンバーズミーティング
 26日(木) 坂戸駅販売 第23回らんだむ絵画展鑑賞(坂戸文化会館)
- 3月 5日(木) 会計監査(坂戸市役所)
 14日(土) 発見!市民活動フェア
 10日(火) 利用者給料日
 13日(金) 喫茶特別メニュー 午後 防災訓練
 14日(土) 発見!市民活動フェア(入西地域交流センター)
 18日(水) 川越特別支援学校 引き売り
 19日(木) つうしん会議
 24日(火) メンバーズミーティング
 26日(木) 利用者期末ボーナス
 28日(土) AM: であいの会勉強会 PM: 定例会



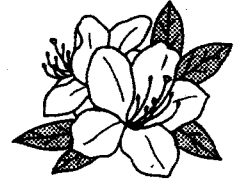
戦後70年を迎えた日本における福祉を取り巻く政治情勢について

1941年12月8日の対英マレー作戦と対米真珠湾攻撃により戦端が開かれた太平洋戦争は、1945年9月2日に日本が東京湾内に停泊したアメリカ海軍軍艦ミズーリにおいて対連合降伏文書に調印することにより終結に至りました。以来今年で戦後70年になります。

戦争は罪のない人々の命を奪い（日本人戦闘員230万人、日本民間人80万人）、多くの障害者を作りだしました。そして障害者は戦争を行うにあたりお国のために役に立たないと存在を否定されました。戦争の役に立つか立たないかというたった一つの基準で人間の価値を決めた過去が日本にありました。私たち日本国民はその痛みを忘れず、再び戦争の惨禍を繰り返さないと心に誓い戦後70年を歩んできました。それなのに…昨年7月1日に第二次安倍内閣は、憲法解釈を変更し、仲間の国を守るための集団的自衛権における軍事力行使を認め、他国軍への支援を拡大する閣議決定をしました。そして今年の3月20日に自民・公明両党は、自衛隊や国連平和維持活動（PKO）に関わる新たな安全保障法制の基本方針について正式合意しました。現行憲法9条の下では自分の国を守るための個別的自衛権の行使しか認められてきませんでした。今回の正式合意で、現政権が憲法解釈の変更に基づく新たな法律の枠組みを認めたことになります。戦後の自衛隊の基本的な軍事戦略である「専守防衛」を掲げながらも徐々に広げてきた自衛隊の海外での活動は、範囲・内容ともに一段と拡大することになります。これは国の在り方が根っこからかわるような問題です。それには憲法を改めることが必要だということで、自民党は憲法改正の発議と国民投票の実施について2年以内の実施を目指すとしています。安倍首相率いる現政権が推進してきた政策には、女性の活用拡大や外国人労働者の受け入れ増加の支持、裁判員制度の導入など自由主義的なものが含まれています。しかし9条改正に気を取られ、「人権」には「責務」が伴うという記述や、「公共の福祉」をやめ「公益及び公の秩序」と置き換えるなど多くの変更点を見過ぎて自民党の望み通りに憲法が改正されれば、今までの自由主義的民主主義が一転して、トルコやハンガリーに見られるような反自由主義的民主主義を日本国民が選択してしまう事態になりかねません。自由民主党は英語でリベラル・デモクラティック・パーティーと表記されますが、戦後ほぼ一貫して政権を握っている自民党のかなりの部分は太平洋戦争時代の政治階層の思想、組織、遺伝子を引き継いでいます。

終戦から50年たった1995年8月15日に村山元首相は閣議決定に基づいて村山談話を発表しました。談話は太平洋戦争に対する日本国政府の公式の歴史的見解として世界に好意的に受け入れられました。そして戦後60年の2005年には小泉元首相が村山談話を継承した小泉談話を発表しました。それから10年たった今年の夏に、安倍首相は戦後70年談話を発表する予定です。しかし、中国などは安倍首相に対し、1995年の村山談話を継承して欲しいとけん制し、日本の戦後70年目の首相談話発表に神経を尖らせています。それはなぜか。安倍首相は首相就任以前に村山談話に対し批判的な発言をしていたためです。さらに、安倍首相は2006年第1次安倍内閣発足直後に、1993年宮沢内閣の時に発表された河野談話（慰安婦関係調査発表に関する河野内閣官房長官談話）に対し、軍や官憲による強制連行の証拠はなかったので河野談話を見直すべきだとする政府答弁書を閣議決定したことがあります。世界のメディアがこの発言をうけ、日本としての責任をあいまいにしようとするものであるとして、ワシントン・ポストが「拉致で国際的支援を求めるならば、日本の犯した罪を率直に認めるべきだ」と批判し、ニューヨーク・タイムズが「安倍首相は日本の国際的な名声を修復するよりも、この恥ずべき行為が、民間の営利活動だったとする自民党の右派にすり寄っている」と非難し、結局、2007年の訪米直前にウォールストリートジャーナルの取材において慰安婦問題について陳謝し、日本側に責任があるとの認識を示した経緯があります。1946年に米国が書いた憲法を直訳してしまい、日本語として不適切な部分もある現行憲法をいずれ改正しなくてはいけないと思います。しかし、現政権下では憲法改正すべきではないと私は思います。(TI)

いしけってい けんりようご 意思決定・権利擁護ってなんだろう？



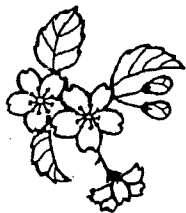
日高市総合支援協議会開催の「意思決定支援・権利擁護フォーラム」に参加させていただき、学び直すチャンスを得ました。シンポジウムでは、軽度の知的障害に加え、糖尿病や腸に疾患のあるMさん、先天性膵臓色素変性症のために一人では外出が難しいというIさんという障害を持つお二人の勇気が、それぞれの仕事や生活での思いを語ってくださいました。それを受け、障害者施設の施設長、社会保険労務士、大病院のソーシャルワーカー、日高市の社会福祉課職員、特別支援学校進路指導職員の5人のコメンテーターから各々の職域、立場から支援の現状、希望や願望、今後の可能性についてのコメントがありました。

「夢は友情を育て、他の人と交流すること。だがきっかけがない。」というIさん。「支援員は障害者一人ひとりの立場に立ってモノを考えてほしい」というMさん。家族が元気な間にと、親も支援者も彼（彼女）にグループホームを勧めるけれど当の本人の気持ちはどこにあるのだろうか。親の思いと本人の思いのちがいはどこかでだれかがすり合わせねばなりません。障害者権利条約第19条には「障害のある人が、他の者との平等を基礎として、居住地および、どこで誰と生活するかを選択する機会を有すること、ならびに特定の生活施設で生活するよう義務づけられないこと」とありますが、支援者が集まり、医療も地域も巻き込んですり合わせをすることの必要性を改めて教えられました。

そういえばぼと工房でも、職員抜きで本音で話しあっている時、「○○○○○○○○○なんだけど、どう思う？」となかま同士で互いの家族について自分の意見や意思がなかなか認めてもらえないことへのグチや不満を言い合っていることがあります。どこでも見かける井戸端会議のようで、なんだかとんでもうれしい光景です。時には職員に向かって「うちの親に言ってください！」と頼まれることもあります。親の送迎を卒業して、電車やバスに乗って自分の力で工房に通いたい人、ぼとを辞めてコンビニやハンバーガーショップで働く事を目標にしている人、逆に一生、ぼとに通い続けた人、それぞれの思いがあります。家族を始め、支援者との納得のいく話し合いがなされるのが必要でしょう。「無理！」と一蹴する前に、どうしたらその夢や目標に近づくことができるだろうか？と本人の自線に並んでいっしょに考える時、良い考えが浮かぶのかも知れません。あきらめは禁物。わたしぬきに わたしのことを きめないで！という声を大切にしたいです。

(M.K.)

なかまのひろば



三浦 さん「川越のソング&カラオケ」

この企画は、素晴らしいと思います。もっと早く出かけて、車で行った方がもっと長く遊べて良いと思います。今日は次の日が休みだと言う事でしたが、次の日が仕事の場合、つかれが残って休む人も出て来るだろうと思います。

今回の様に男子は男子、女子は女子と分かるのはどうか？と思います。大部屋をわけて、皆でワイワイカヤカヤも良いと思います。車で行っていいね。今回は7曲でしたが、10曲は歌えると思います。ソングの人だてゆくり選べてより良い物を買えたと思います。電車。時間とか時間に追われるのはイヤです。もっとゆとり過ぎたいです。

今年のしんねんかいでスベキめどはいい。ドミノバーベキューまでまたとてもおいしかった。です。

ごはんとおはいついおかわりしました。また

来年はしんねんかいでスベキめどにしたいです。杉浦理央



田中 さん「川越のソング」

私はカラオケに行きました。

いっぱい歌えました。♪

また、いきたくてです。





だいきぼじしん そな ことし じっさい おお
大規模地震に備え、今年もみんなでくんれんをしました。実際に大きな

じしん
地震がくれば、本番はどんなことが起きるか予想もできませんが、もしもの

ばあい お っ ころどう こんかい たいせつ
場合、落ち着いて行動できるよう、今回もころがまえを大切に、「おさない、

かけない、しゃべらない、もどらない」を心に留めて行動できました。

くんれんを終えての感想です。

- くんれんができてよかった、べんきょうになった
- みんなと同じ速さで歩けなくて迷惑をかけた。本当に大地震が起きたら僕をおいて逃げて下さい。(→いえいえ、決して置いては逃げませんよ<職員>)
- 先頭の人たちとバラケちゃった。仕事をやっていたから。
- (テレビのニュースとかを思い出して) かわいそうだった。
- 脳梗塞を患ったからみんなとちがってゆっくりしか歩けなかった
- 住んでいる地域の訓練には本人は参加してないのでここで訓練ができてありがたい
(なかまの保護者)
- お・か・し・も を守ってみんな昨年よりも、うんとよくできていた(ボランティア)



平成 27 年 3 月 13 日 実施

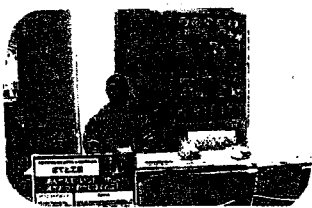


雑見！市民活動フェア 入西 交流センター

3月14日（土）

会場を入西の交流センターに移して2度目のフェアに行ってきました。おなじみの古本市、スタンプラリー、子どもたちのよるこぶ露天も大賑わい。ステージ発表ではこすもす作業所さんの歌や踊りのすばらしい出し物に感動しました。ぼてと工房のなかまは、いっしょに参加してくれたお母さんたちと共に‘さかつちクッキーセット’など、クッキー販売をがんばりました。たくさんたくさん、売れました♪ 一日の売り上げとしては過去最高の記録もので、みんなで拍手！！ 日々の活動、行事の紹介も多くの方が興味を持って見てくれました。体験コーナーでは、細い布を張られた糸にたがいちがいに通していくカード織りのコースター作りを教わりました。長い時間をかけて根気よく仕上げました。また、特別なめがねをかけて、ぼんやりとしか見えないはがきに宛名を書き、弱視の人の疑似体験をし日々のご苦労が少しだけ、わかりました。暖かな晴天の下、参加団体の人達をはじめ、多くの人と共に楽しい一日を過ごしました。（*^_^*） 参加してくれたお母さんたちの感想とショットを紹介します。

- ▽ 市民活動フェア、楽しかったで～す♪ 特に私の興味を引いたのは「菜の花エコプロジェクト」でした。‘見てよし！食べてよし！走ってよし（車）！’最高です。家で油を良く使うので、だと思えます。娘は手織りの体験で作ったコースターを敷いて毎日、コーヒーを飲んでいます。嬉しそうにニンマリと・・・。
- ▽ さまざまな取り組み、小さな積み重ねが自然や環境を変えることができるのが凄いいと思いました。また、他の作業所の保護者の方にお話を聞くことができたのもよかったです♪



3月28日 / であいの会ぼてと主催の勉強会

講師 社会福祉法人ありす福祉会 施設責任者

利用者の高齢化を考え、これから先をどのように見据えていったらよいのか。特にグループホームを利用するに際しては、障害支援区分の認定を受けることが条件となる。施設運営については、規模があまりにも違い保護者との関わりについてはほとんどない。保護者の高齢化も考えると、いずれは職員にお任せする方向で検討する必要性を感じました。



工房発 クッキー&ケーキ 春の sweets 2015

Cookies(クッキー)

「ぼてと工房」のクッキーは材料を吟味したこだわりの逸品です。種子島のサトウキビから抽出された粗精糖に良質のバターやマーガリン、たまごは工房近くの筑波大学付属坂戸高校から届く地産地消の安全なものです。甘みを抑え、さつくりと美味しいとご好評をいただいております。季節限定品を含めると20種類のバリエーション。生地作りから仕上げの袋詰めまでひとつひとつを丁寧に手作りで行っています。ティータイムにお楽しみいただく他、贈り物に喜ばれ、イベントにもお役に立っています。ぜひご利用ください。

- ♪おなじみのクッキー アーモンド くるみ チョコチップ さくさくレモン レーズン ココア ごま オートブラン シナモン かぼちゃ オートミールレーズン ベリーベリー スイートポテト パンプキンナッツ ココアパンプキン アーモンドリーフ
- ♪野菜クッキー キャロット モロヘイヤ ショウガ マルベリー・桑の葉
- ♪どうぶつクッキー かわいいどうぶつたちの型ぬきクッキー
- ♪季節限定品 《春》 さくら よもぎ はなクッキー

♪500円ワンコインセット♪

★坂戸市のイメージキャラクターさかっちゃんの特製クッキーも人気です!! お試しください。

自治体特選サイト ご当地の特産品として、「あんぜんで いつも うれしい えがおの おかし」を「キャッチフレーズ」に、「さかどの ぼてと工房 クッキーセット」が、インターネット上で、お買い求めいただけます。Yahoo!Japanで検索

Cakes(ケーキ)

アールグレイの香りが喜ばれる紅茶ケーキ。マンゴーソースとたっぷり入ったドライフルーツのコラボレーションが嬉しいトロピカルなフルーツケーキ。酸味と甘みが絶妙のブルーベリーケーキもお作りしています。いずれも材料吟味のしっとりしたカットケーキで大変ご好評いただいております。ご予約いただければカットなしの大きなサイズ(ホール)のケーキもご準備できます。ご注文の際はお電話、faxにてお問い合わせください。お待ちしております!!

- *ご注文、お問い合わせともに、tel&fax 049-283-4294 ぼてと工房
- *発送は郵パックで1箱のご注文からお受けしております。
- *特注品はご相談ください。

★「ぼてと工房」のクッキー、カットケーキは大人気!! 結婚式や各種パーティでも喜ばれています。

ぼてと喫茶だより

うららかな春の陽気がうれしい季節になりました。月に一度の特別メニューでは魚介のうまみたっぶりのバエリアになかまのみんなはお喜び! ぼてと喫茶では香り高いコーヒーや紅茶に、となりのぼてと工房で焼いたおいしいクッキーを添えて、温かいおもてなしができるよう、お待ちしております。ぜひお立ち寄りください。





「NPO 法人ぼてと to 地域福祉の会」ならびに「であいの会ぼてと」を、日ごろ支えていただき、ありがとうございます。今年度もよろしくお願い致します。

NPO の 26 年度会費およびご寄付を下記の皆様からいただきました。心からお礼申し上げます。

26 年度 NPO 会費納入者

青木多恵子	秋田功	阿部文史郎	安藤静子	池上正子
石川世津子	市毛美知子	岩崎貴大	江口慶子	太田栄子
岡野公一	大橋孝子	大平たつい	小川忍	荻野伸二
加藤玲子	川北茂子	上村靖夫	川越テレビ	川野あけみ
河端幸男	河端健三	堀之内クリニック 理事長	木村素子	
日下順子	小泉美佐子	斉藤博子	榊原豊	庄司弘美
杉浦郁代	鈴木ヒサ子	鈴木素美	(株) セレクト	高久哲郎
高野敏子	田辺シズエ	田辺進	高正保	坪倉やい子
鶴岡啓三	永井ミチ子	長峰定雄	長澤伸三	西川忠
西川順子	早坂和子	樋口恵一	兵頭祐子	福井福子
福田直樹	藤井和子	正木冴子	松尾満紀子	満生良枝
三浦京子	水澤栄子	宮野晴義	宮崎弘子	矢澤正義
山岡創	山田幸子	横田正子		

(敬称略)

ご寄付をいただいた方

川野あけみ

高野敏子

(敬称略)

NPO 会費お振り込みのお知らせ

27 年度の NPO 法人会費 2000 円は下記あてにお振り込みくださいますよう
 よろしく願いいたします。(別途 郵貯の振替払込書請求書を送らせて
 頂きます。)

郵便局 = 郵便振替口座 00120-5-299152

特定非営利活動法人ぼてと to 地域福祉の会

農協 = いるま野農協坂戸支店 0028276

であいの会「ぼてと」活動報告と予定
(平成26年12月～平成27年3月)

平成26年

- 12月 3日(水) 障害者週間 市役所エントランスで展示販売
13日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
18日(水) ボランティアサロン

平成27年

- 1月10日(土) 定例会・新年会 坂戸グランドホテル
22日(木) ボランティアサロン
24日(土) ボランティア連絡会の新年会
2月14日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
20日(金) レクレーション 川越 食事 ショッピング
25日(水) つうしん会議
26日(木) ボランティアサロン
3月14日(土) 市民活動フェアー
19日(木) つうしん会議
26日(木) ボランティアサロン
28日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会

会 員各位 様

平成26年度 定期総会のお知らせ

桜の開花予報の季節となりました。日頃より当法人の活動に関しましては、ご理解ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の通り7期定期総会を開催いたします。ぜひご参集下さいませようご案内申し上げます。

: 日 時 4月25日(土曜日) 午後1時から
: 場 所 坂戸市千代田公民館 2階会議室
「ぼてと工房」より徒歩5分

(編集後記)

桜の季節となり別れと新たなスタート、人生節目の季節です。中学校の卒業式50年前にさかのぼる記憶、何も残ってない。ああ!こういう時もあったことのみで、遥か遠くの記憶のみ。(A.S.M.K)

編集: であいの会 ぼてと

NPO 法人ぼてと to 地域福祉の会

〒350-0214 坂戸市千代田4-6-23-107 電話/FAX 049-283-4294

HP <http://www13.plala.or.jp/poteto/>

二〇一五年三月二十七日発行(毎月八回一、三、五、六、七、九の日発行)通巻第6747号 定価50円
一九八三年 七月十九日第三種郵便認可 発行 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市元郷一ノ十ノ十三